



2026年10月期 第3四半期 決算説明資料

のむら産業株式会社 証券コード 7131

東和グラビヤ印刷の子会社化により、包装関連事業の成長基盤を強化

資材機能の内製化と顧客接点の拡大を通じ、付加価値向上と持続的な成長を目指す

子会社化



食品パッケージを中心とした包装資材の製造



設立	1964年3月31日
資本金	3,000万円
売上高/ 営業利益	1,280百万円/15百万円 (2025年7月期)
株式譲渡 実行日	2026年11月1日（予定）

強み

- ・グラビア印刷から製袋まで一貫の自社生産体制
- ・長年の実績に裏付けられたグラビア印刷技術
- ・商品の安心・安全を守る厳格な品質管理体制

本M&Aで期待するシナジー

1 資材関連機能の内製化

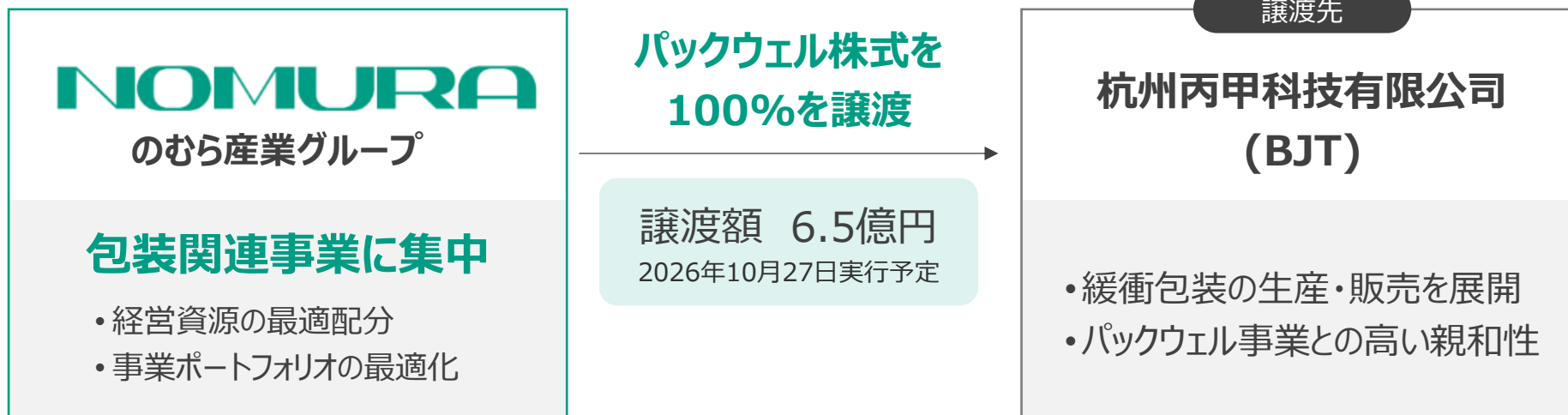
印刷・製袋機能をグループ内に取り込み
付加価値向上と安定供給につなげる

2 顧客接点・提案領域の拡大

米穀市場以外の顧客基盤を活用し
新たな提案機会を創出

包装関連事業の成長力を強化

パックウェル株式を譲渡し、主力事業へ経営資源を集中



本株式譲渡の狙い

主力の包装関連事業に経営資源を集中し、
グループ全体の企業価値向上を目指す

主力事業の好調な推移により、前年同期比で大幅増収増益を実現 期初計画を上回る進捗を背景に、通期業績見通しを上方修正

売上高

6,040百万円

前年同期比：＋17.8%
進捗率(対期初計画)：82.1%

営業利益

834百万円

前年同期比：＋50.5%
進捗率(対期初計画)：103.0%

親会社株主に帰属する 四半期純利益

590百万円

前年同期比：＋59.0%
進捗率(対期初計画)：107.7%

セグメント別売上高

包装関連事業が堅調に増収、物流梱包事業は概ね通期計画通り推移

包装関連事業

5,331百万円

前年同期比：＋20.0%

物流梱包事業

709百万円

前年同期比：＋3.3%

「包装機械」の順調な売上増、および、「包装資材」の原料価格高騰分の
価格転嫁などにより、堅調な増収・増益を達成

単位：百万円	25/10期 第3四半期		26/10期 第3四半期		前年同期比	
	実績	売上比率	実績	売上比率	増減額	増減率
売上高	5,129	—	6,040	—	+910	+17.8%
売上総利益	1,382	26.9%	1,713	28.4%	+330	+23.9%
販売費及び 一般管理費	828	16.1%	878	14.6%	+50	+6.1%
営業利益	554	10.8%	834	13.8%	+279	+50.5%
経常利益	555	10.8%	835	13.8%	+280	+50.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	371	7.2%	590	9.8%	+219	+59.0%

3Q時点で、各段階利益が通期計画を上振れて進捗



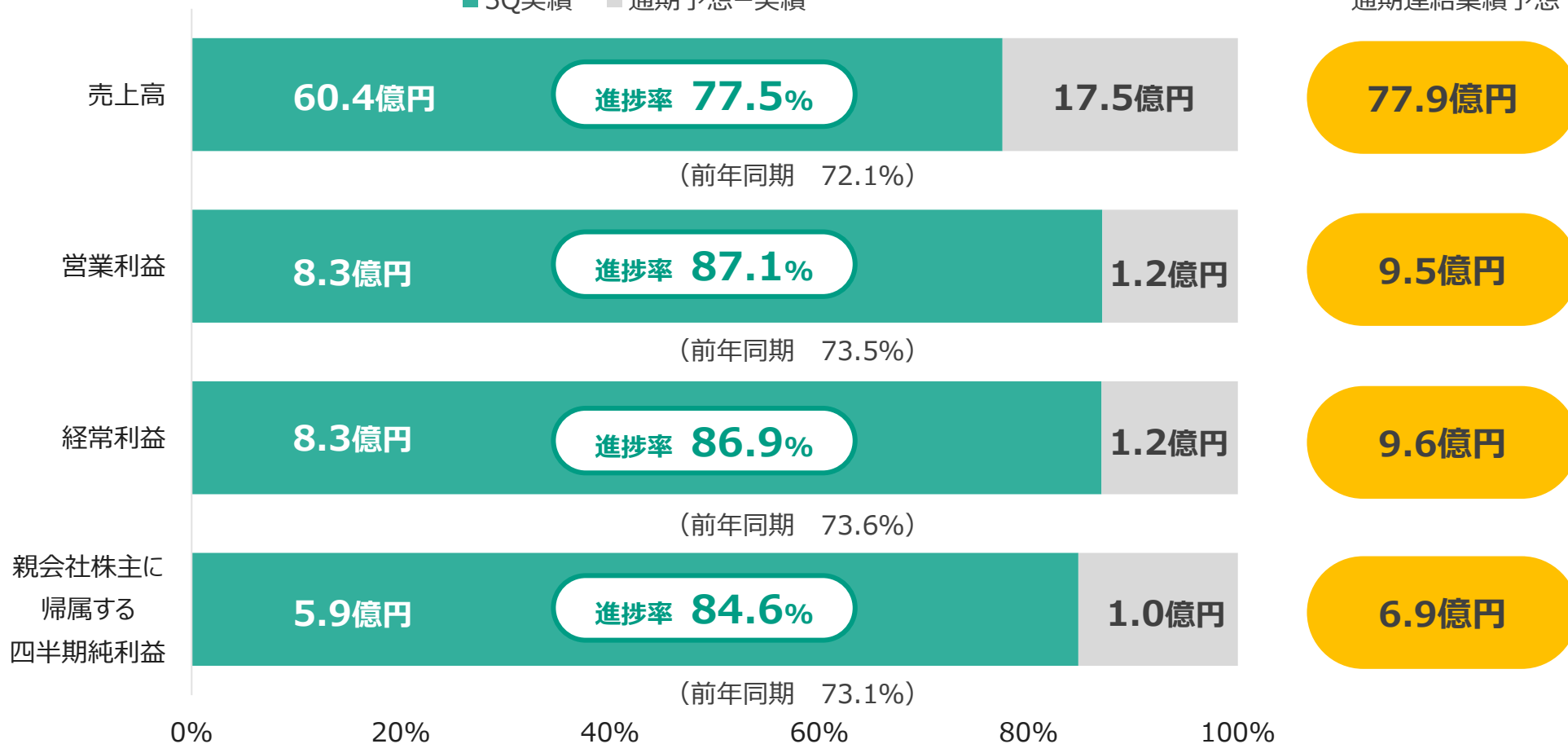
業績進捗を踏まえ、通期計画を上方修正。
前期比で+9.6%の売上高成長、および、過去最高益が達成できる見込み。

単位：百万円	25/10期	26/10期		26/10期(修正後)		前回予想からの増減 [B-A]
	実績	前回予想 [A]	前期比	今回予想 [B]	前期比	
売上高	7,111	7,360	+3.5%	7,792	+9.6%	+432
営業利益	753	810	+7.5%	958	+27.2%	+147
経常利益	753	809	+7.4%	960	+27.4%	+150
親会社株主に 帰属する 当期純利益	508	548	+7.9%	698	+37.4%	+149
1株当たり 当期純利益	384.39円	414.74円	+7.9%	528.19円	+37.4%	113.45円

上方修正後も通期での修正計画達成を目指す。

【上方修正後】
2026年10月期
通期連結業績予想

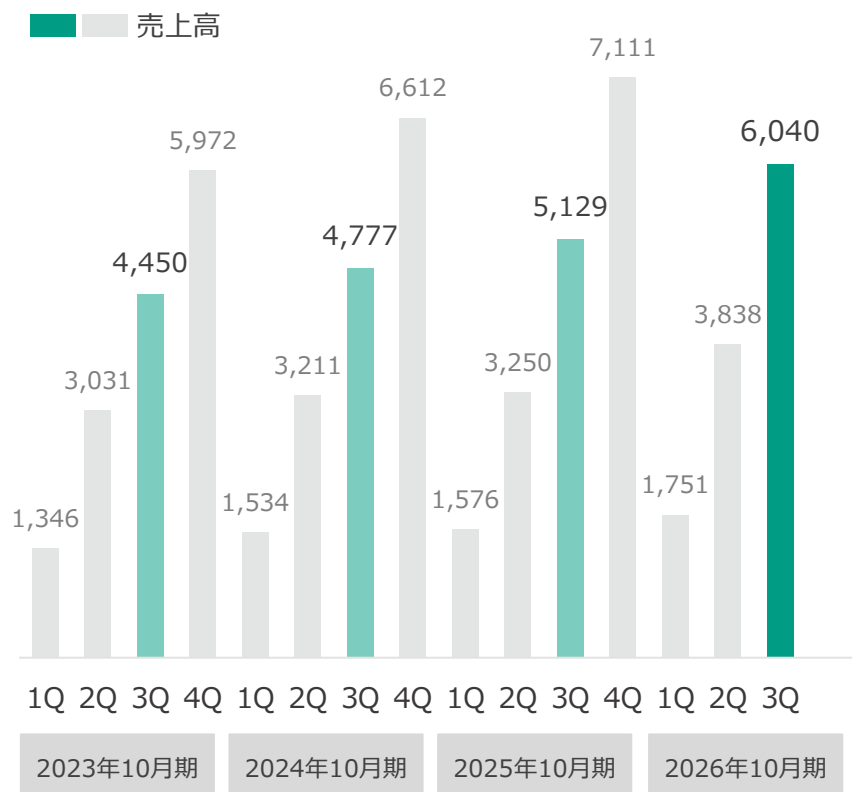
■ 3Q実績 ■ 通期予想－実績



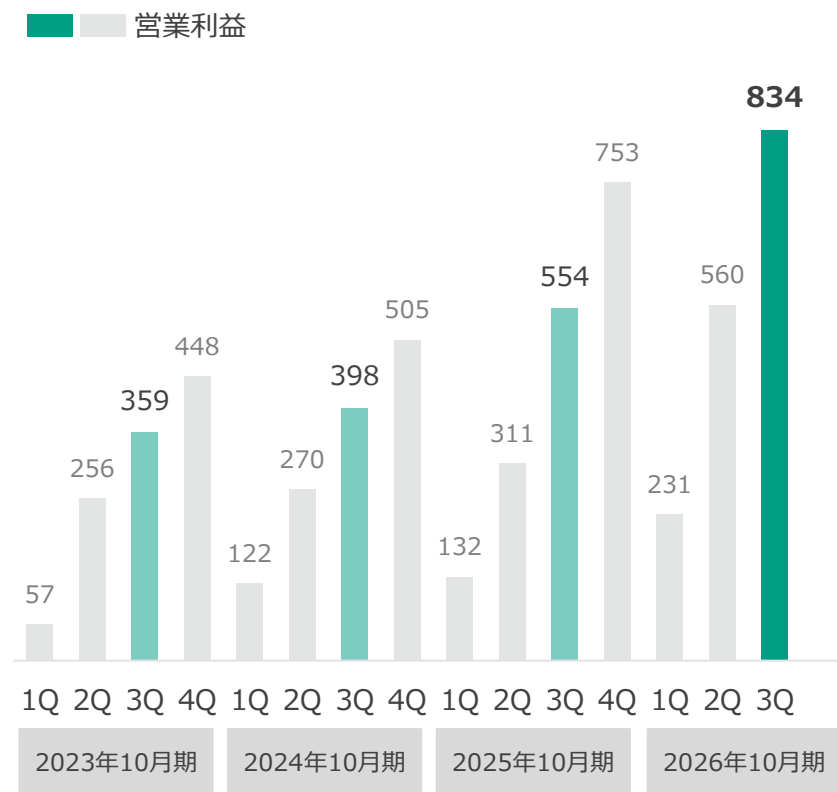
※前年同期の進捗率は、前年通年実績に対する前年同期における進捗率

第3四半期の期間比較では売上、利益ともに最高値を更新

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



包装関連事業

包装資材 | 中東情勢の影響による原材料価格高騰など不安定な市場環境で推移するも、適切な価格転嫁により、増収に寄与。

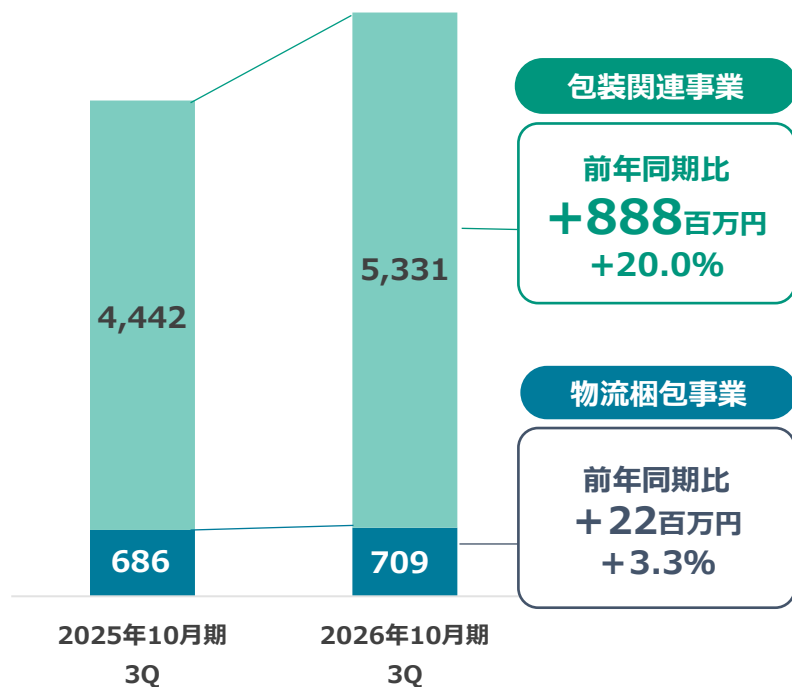
増収・増益

包装機械 | 期初計画に沿った受注を確保し、着実に納品したことで増収に寄与。

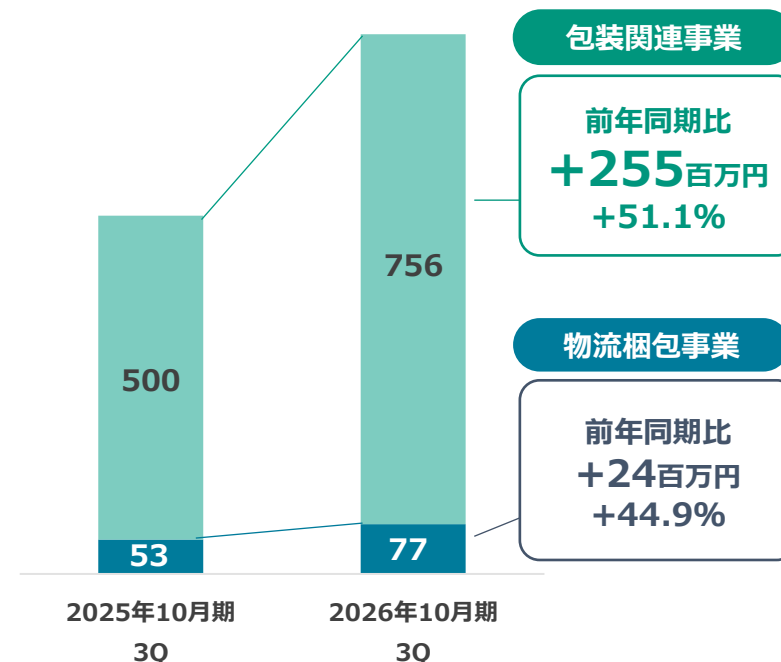
物流梱包事業

増収・増益 物流業界の事業環境の変化が続く中、ネット通販関連の需要は底堅く推移。

売上高



セグメント利益

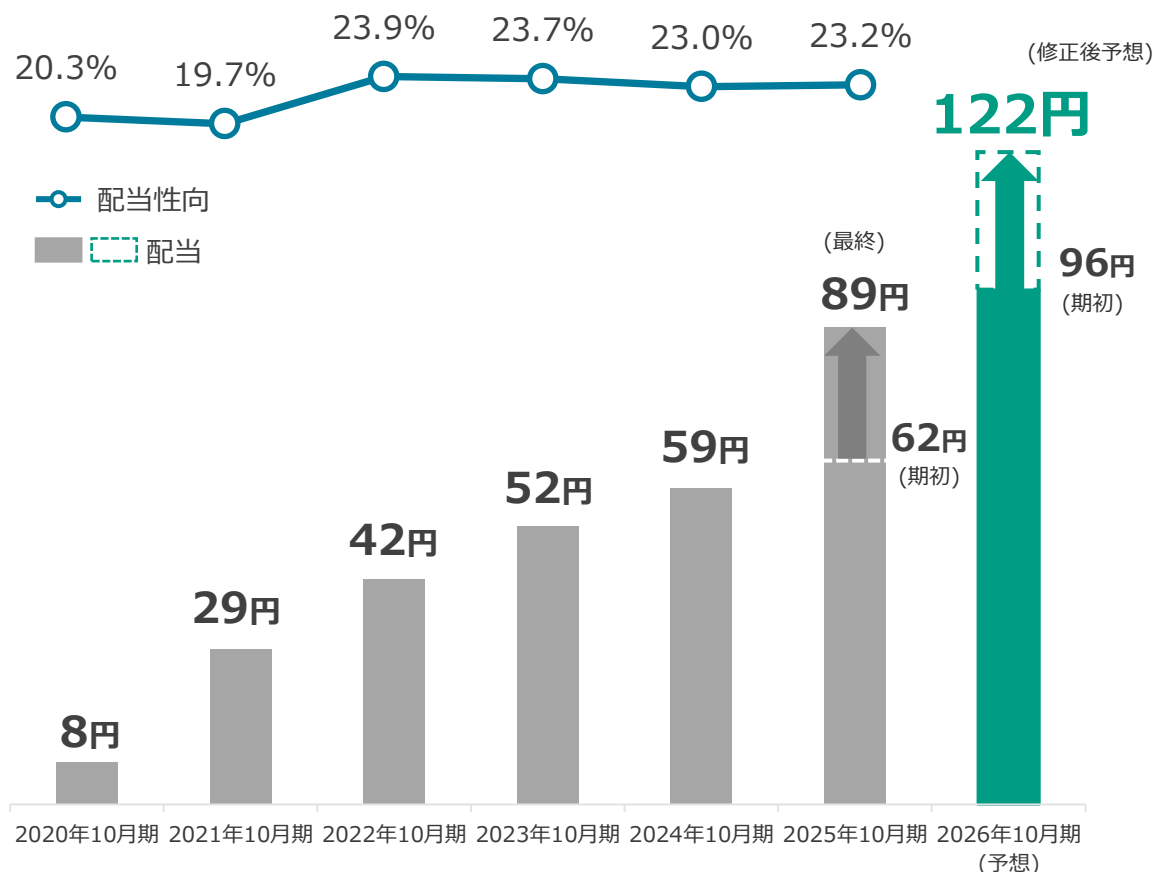


(単位：百万円)	25/10期 期末	26/10期 第3四半期	増減額	主な増減要因
総資産	4,910	5,479	+568	主に現預金238百万円、 売上債権209百万円の増加
負債	2,560	2,645	+84	主に仕入債務97百万円の増加
純資産	2,349	2,833	+484	主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上 株主配当による利益剰余金の減少

通期計画の上方修正を踏まえ、予想配当額を増額修正 前期比で33円増配し122円を予定

基本方針

事業拡大に必要な内部留保とのバランスを図りながら連結配当性向25%程度を目標としつつ、**継続的かつ安定的な配当を実施**



※2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っており、1株当たりの年間配当金につきましては当該株式分割後の配当額を記載しております。

- 本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

のむら産業株式会社 管理部

Web : <https://www.nomurasangyo.co.jp/ir/>